

学 校 名	期 間	研 究 主 題	発表会日時	参加者数
県立塙工業高校	47年、48年	交通安全指導の研究、一ホームルーム活動を主とした生徒指導一	11月15日(木)	41名
〃 西会津高校	47年、48年	健全なる集団意識を育成する生徒の指導はどうすべきか 一ホームルーム活動、生徒会活動、クラブ活動を中心として一	10月9日(火)	76名
〃 遠野高校	47年、48年	本校生の躰の実態と躰教育について	12月7日(金)	84名
〃 福島商業高校	48年、49年	交通安全指導の推進について(主としてバイクの安全運転の指導)	11月27日(火)	47名
〃 本宮高校	48年、49年	生徒指導の中で、性モラルの領域をどのようにうけとめればよいか	11月14日(水)	47名
〃 原町高校	48年、49年	学習意欲を高めるための生徒指導	11月5日(月)	38名

③ 進路指導関係

ア、目的

生徒の適性、能力を的確には握し、進路の選択能力を養うための実践的研究を行い、高等学校における進路指導の充実向上を期する。

イ、指定期間、48年度、1か年間

ウ、学校名、研究主題

学 校 名	研 究 主 題
県立須賀川高校	本校における進路相談の実際
〃 富岡高校	進路決定の要因について

④ 特殊教育関係

ア、目的

特殊教育諸学校における教科指導、養護訓練等の諸問題について研究をし、問題点の解決を図り、指導の効果を高める。また、その成果を広く県内各学校に普及させ、特殊教育の充実向上に資する。

イ、研究期間 48年度、1か年間

ウ、学校名、領域、研究主題

領 域	学 校 名	研 究 主 題
体 育	県立郡山養護学校	肢体不自由児の障害に応じた体育科学習指導内容と指導法の改善
養護・訓練	〃 会津ろう学校	養護・訓練の指導計画と実践について
国 語	〃 平盲学校	漢字の部首別指導

第5節 道徳教育、生徒指導

1. 道徳教育

各学校ならびに関係機関の努力によって、学校の全教育活動をととして行われる道徳教育および道徳の時間の指導が充実の度を加えつつある。特に、道徳教育研究指定校を中心とする実践的研究は、すぐれた実績をおさめ、本県の道徳教育の推進に多大の貢献をしている。

(1) 小学校教育研究会道徳部会

① 研究主題

「指導計画の活用と、指導法の実践的研究」

② 主 催

県教育委員会、県小学校教育研究会、関係市町村教育委員会

③ 会 場

地区 各地区ごとに設定(16会場)

県 相馬市立中村第一小学校

④ 期 日

地区 各地区ごとに実施

県 昭和48年10月8日、9日

(2) 中学校教育研究会道徳部会

① 研究主題

「道徳性を高め、実践への意欲をつちかう指導をどうくふうしたらよいか」——指導過程の改善——

② 主 催

県教育委員会、県中学校教育研究会、関係市町村教育委員会

③ 会 場

地区 各地区ごとに設定(16会場)

県 福島市立野田中学校

④ 期 日

地区 各地区ごとに実施

県 昭和48年10月16日、17日

(3) 昭和48年度道徳教育講習会

① 趣 旨

小学校、中学校における道徳教育の充実、徹底を期するため、道徳教育における基本問題および指導上の諸問題を解明し、教職員の資質の向上を図る。

② 主 催 文部省、県教育委員会

③ 主 題

- 道徳教育の全体計画の必要性
- 道徳の年間指導計画の作成
- 道徳の授業の指導過程と指導方法
- 資料の選択、収集、整備と活用
- その他各地区の実情に即した主題

④ 会 場

小 学 校 県内 33会場

中 学 校 県内 23会場

⑤ 期 日

各会場3日間

⑥ 参加者数

小学校 680名

中学校 320名

(4) 道徳教育研究学校

(文部省指定)

文部省の道徳教育研究学校として、小学校および中学校それぞれ3校ずつが、昭和48・49年度の指定をうけた。

学校名および研究主題は次のとおりである。